

令和4年度

第1回鴨川市立図書館協議会次第

日 時 令和4年5月25日（水）
午後3時から
場 所 鴨川市立図書館 集会室

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 教育長あいさつ
4. 会長・副会長の選出について
5. 会長あいさつ
6. 議 題 （1）令和3年度鴨川市立図書館事業報告について
 （2）令和4年度運営方針・実施概要等について
7. その他
8. 閉 会

鴨川市立図書館協議会委員名簿

任期: 令和4年5月1日～令和6年4月30日

NO	氏名	住 所 (勤務地等)	備 考		
			役職等	区分	
1	タカギ 高木 シュウヘイ 修平	鴨川市宮山	長狭中学校教諭	学校教育関係者	
2	ヨシノ 吉野 リエ 理恵	鴨川市天津	天津小湊小学校 教諭	学校教育関係者	
3	ヤマグチ 山口 ケンイチ 健一	鴨川市横渚	長狭高等学校長	学校教育関係者	
4	タカハシ 高橋 カズオ 和夫	鴨川市八色	鴨川市子ども会育成 連盟会長	社会教育関係者	
5	ミサワ 三沢 ヒロミ 裕美	鴨川市天津	図書館ボランティア	家庭教育の向上に 資する者	
6	ワタナベ 渡邊 タカシ 隆	鴨川市西町	元公立高校長	学識経験者	

令和3年度図書館事業報告

1.乳幼児対象の事業

(1) おひざにだっこのおはなし会

- △対象 0歳から3歳くらいまでの乳幼児
 △開催 毎月1回 第2木曜日を原則とする
 △実施者 文化施設ボランティア（登録者 8名）
 △実施内容 絵本の読み聞かせ、パネルシアター、エプロンシアター、紙芝居、手遊びなど
 △実施状況 *緊急事態宣言の発令及びまん延防止等重点措置により
 8～9月、2～3月のイベント中止

回数	参加者
8回	157名（のべ人数）



▲出前おひざにだっこのおはなし会

＝関係機関からの要請で読み聞かせを実施＝

(2) 「赤ちゃんに絵本の贈り物」事業～ブックスタート～

- △対象 令和2年4月以降に市内で誕生した乳児
 △方法 子ども支援課、健康推進課実施事業の「新生児訪問」「こんにちは赤ちゃん訪問事業」にて個別に趣旨の説明。図書館にて絵本1冊と絵本バック、「赤ちゃんにおすすめの絵本」リストを贈呈、図書貸出券の発行。

2.幼・小・中学生対象事業

(1) おはなしひろば

- △対象 幼稚園児から小学校低学年
 △開催 毎月1回 第4土曜日を原則とする
 △実施者 文化施設ボランティア（登録 13名）
 △実施内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居、大型絵本、手遊び、わらべ歌、簡単な工作 など
 △実施状況 *緊急事態宣言の発令及びまん延防止等重点措置により
 8～9月、1～3月のイベント中止

回数	参加者
7回	66名（のべ人数）



(2) なかよしひろばおはなし会（大山公民館図書室）

- △対象 0歳から小学校低学年
 △開催 毎月1回 第3土曜日を原則とする
 △実施者 文化施設ボランティア（登録 3名）
 △実施内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居、大型絵本、手遊び、わらべ歌など
 △実施状況 *緊急事態宣言の発令及びまん延防止等重点措置により
 8～9月、2～3月のイベント中止

回数	参加者
8回	42名（のべ人数）

(3) 夏休み子どもフェスタ（8月の第一土・日）

- △対象 幼児から小学生まで
 △内容 おはなし会や工作、講師を呼んでの講演会など、様々な内容を盛り込んだ子ども向けイベント。昨年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(4) 鴨川市立図書館子ども司書講座

△対象 市内小学3年生から6年生

△開催日及び参加人数

第1回 6月 6日(日)

第2回 6月20日(日)

第3回 7月 4日(日)

両日共に10時～15時

6年生 1名、 5年生 2名

4年生 5名、 3年生 3名 計11名

〔 江見小4名、鴨小1名、西条小2名、東条小2名、
田原小2名 〕

- △内容
- ・図書館の仕組みや本の分類の仕方について
 - ・貸出、返却、配架などカウンター業務
 - ・本のブックカバーかけ
 - ・おすすめ本の選書
 - ・図書館員おすすめ図書コーナーの設置など



(5) ぬいぐるみのおとまり会

△対象 市内小学2年生以下

△内容 子どもにとって身近なぬいぐるみを通じて、お話の楽しさや絵本への親しみを感じてもらい、読書する習慣形成を促すことを目的に実施。
ぬいぐるみと一緒におはなし会へ参加し、その後ぬいぐるみを図書館で預かりお泊り。後日ぬいぐるみを迎えにきた子どもたちに、ぬいぐるみが図書館で過ごした様子をアルバムにしてプレゼントする。

*昨年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(6) 世界の絵本を楽しもう【新規事業】

△対象 幼児から小学校低学年くらい

△内容 小学校に英語教育や英語活動が本格的に取り入れられる中、幼い頃から国際理解を深めてもらう機会の提供を目的に実施。
絵本の読み聞かせの他、歌や工作、クイズ等様々な国の言葉で絵本を楽しむ。



	言語	開催日	講師	参加者
第1回	英語	6月12日(土)	国際交流員 アンドリュー・ケーザーマン氏	25名
第2回	韓国語	11月28日(土)	商工観光課 吉田未央氏	24名

(7) 図書館仕事体験・図書館見学等

随時要請に応じて受入

回	開催日	学校名	参加者数	備考
1	6月2日(水)	江見小学校2年生	25名	見学体験・学習
2	6月5日(土)	西条土曜スクール	25名	見学・学習
3	6月23日(水)	西条小学校2年生	19名	見学体験・学習
4	6月29日(火)	東条小学校2年生	50名	見学体験・学習
5	7月2日(金)	田原小学校2年生	12名	見学体験・学習
6	7月13日(火)	長狭小学校1・2年生	26名	見学体験・学習
7	7月16日(金)	天津小湊小学校2年生	31名	見学体験・学習
8	7月23～25日	君津青葉高校2年生 山下さん	1名	インターンシップ
9	10月14日(木)	西条小学校6年生	3名	職場体験
10	10月15日(金)	鴨川小学校2年生	33名	見学体験・学習
11	11月6日(土)	西条土曜スクール	25名	見学・学習

(8) 小・中学校配本事業（かもとしょ）

- △対象 市内全小中学校（小学校7校・中学校3校）
 △実施 小学校へは4月10月に150冊～200冊の本を配本
 中学校へは学期毎に各クラス40冊ずつ配本
 △内容 読書を楽しんでもらうため、図書館からおすすめする本を定期的に配本。
 学校と連携をとりながら、読書活動の推進に努めている。



3. 一般成人対象

(1) お話を楽しむ会 ～大人向け朗読会～

- △対象 一般成人
 △開催日 年2～3回程度（練習は毎月第2火曜日に実施）
 △実施者 文化施設ボランティア（登録 7名）
 △実施内容 名作や郷土の民話の朗読や講話など

回	開催日	内容	参加者
1	6月29日（火）	短編「この子誰の子」宮部みゆき/作	10名
2	3月8日（火）	「夫婦の一日」遠藤周作/作 「小さき者へ」有島武郎/作	中止

(2) 講演会・講座

回	開催日	行事名	講師名	参加人数
1	9月11日（土）	俳句入門講座	東國人氏（長狭高校教諭）	中止
2	1月29日（土）	俳句入門講座	//	15名
3	10月31日（日）	文学講座「方丈記」	河地修氏（東洋大学名誉教授）	27名

(3) その他、実施事業

回	開催日	事業名称	内容	参加人数
1	8月15日（日）	映画上映会「平和について考える映画会」	「対馬丸」	中止
2	12月11日（土）	映画上映会「名作とふれあう上映会」	「マチネの終わりに」	25名
3	12月5日（日）	本のリサイクル市	一般書、児童書の寄贈本等を無償提供	215名
4	1月4日～	本の福袋	図書館員がテーマごとに選書した本を、1袋につき3冊ずつ入れ、貸出	大人用30 子供用30

4. その他連携事業

(1) 図書館公民館分室の開設

遠隔地域の住民サービスとして、公民館へ図書館の分室を開設。各公民館用の貸出カードを作成し、利用している。

公民館名	開設等	蔵書冊数	登録人数
曽呂公民館分室	平成23年9月試行 平成24年開設	約800冊	101名
大山公民館分室	平成23年12月試行 平成24年開設	約2650冊	193名
江見公民館分室	平成24年7月開設	約800冊	91名
天津小湊公民館分室	平成25年7月開設	約4550冊	240名

(2) 公民館予約本受取サービス

図書館まで来ることが困難な方のために、事前に図書館へ予約した本を希望する市内の公民館へお届けしている。

- △開始 平成29年7月1日から
- △対象 鴨川市立図書館個人利用者（図書貸出券登録者）
- △配本場所 鴨川市内 全11公民館
- △予約申込み冊数 一人5冊まで

令和4年度運営方針・実施概要

鴨川市立図書館

赤ちゃんからご高齢の方まで、みんなに親しまれ利用される図書館づくり

『鴨川市第4次5か年計画』（R3～R7）第4章「ともに学び未来を育む教育文化のまち」第2節「生涯学習の充実」に基づき、市民の多様な学習や調査研究の便に供し、生涯学習社会の進展、高度情報化に伴う社会の変化に対応した図書館運営に努め、情報センターとしての役割を担う。

- 中・長期的展望に立った図書資料の充実
- 他の図書館や様々な機関との連携によるサービスの向上
- 学校との連携による子どもの読書量及び質の向上
- 社会的動向や市民ニーズの情報収集と活用
- 文化施設ボランティア（図書館ボランティア）の協力・支援による多様な行事の実施と利用者の拡大
- 本市の特色（観光・医療・子育て）を生かした図書館運営の充実

《令和4年度 鴨川市立図書館新規事業》

- 本市の特色を生かす配架の工夫（令和3年度から5年度）
- 学習スペースを中心とした館内の床修繕
- 閲覧席用アクリル板設置
- 第2次生涯読書推進計画（子どもの読書活動推進計画）の作成支援



《令和4年度の重点：連携・環境・改善》

- 連携：**学校や公民館、ボランティア等との連携を強化し、利用者サービスの向上を図る。
- 環境：**館内の床修繕対策を講じ、利用者の安全を図る。
- 改善：**閲覧席や配架を工夫改善して、図書館の魅力度アップを図る。

《運営の具体的方針と実施概要》

1 また来たくなる図書館づくりをめざして（館内・館外）

① 特色ある配架の工夫

- 闘病記や防災に関するコーナーを設置し、改善に努めてきた。今後は、本市の特色である観光・医療・子育ての分野が来館者にわかりやすくなるように、配架や表示を工夫していく。
- 今年度は、「子育て」分野に重点を置いて配架を工夫していく。

② 図書資料の充実

○予算の確保により図書資料の充実が図られ、利用増につながっている。特に、古い情報掲載の本の買い替え、話題の新刊本の購入、教科書掲載本の購入、分室用図書の購入等、幅広いニーズに応える図書資料の購入が可能になってきた。引き続き、リクエストや利用者のニーズに応えられるよう選書していく。

○選書会議を月一回実施しているが、職員の選書能力をさらに高めるとともに、各分野の蔵書状況を考えながら図書資料の充実を図っていく。

③ 資料の適切な管理

○書架の移動、新書版専用書架や文庫本専用書架、絵本棚の設置などで館内資料の配置は大分まとまり、閲覧しやすくなってきた。

○本の修理やブックカバーのかけ直し等の作業をこまめに行ったため、きれいな本が書架に並ぶようになった。継続して取り組んでいく。

④ 利用者サービスの向上

○利用者サービスの一層の充実を図るため、火曜から金曜の平日を午前9時30分から午後6時30分まで、土曜・日曜・祝日を午前9時30分から午後5時30分までとしている。

○図書館の取組を利用者に伝わりやすくするとともに、利用者がより検索しやすくなるように図書館ホームページを更新した。また、ホームページ上に著作権の消失した文学作品等を無料で閲覧することができる電子図書「青空文庫」のリンクを貼り、市民が利用できるようにしている。

○利用者が学習や調査を目的として、より図書館を利用しやすいように、令和元年6月から公衆無線LANが利用可能となった。

○相互貸借事業の効果的な運用で、本館にない資料も利用者に提供できた。継続して取り組みたい。

○利用者の多様なレファレンスに応じていけるよう、職員のレファレンス能力の向上が求められる。毎月、職員全体による「レファレンス研修」を実施し、本館や他館等の事例をもとに、対応について学んでいく。

○延滞者には、「督促基準」に基づき、電話や手紙等で督促をしたが、電話が不通であったり、手紙が返送されたりで数年間延滞の利用者もいるのが現状である。今後も粘り強く督促していく。

⑤ 館内外の環境整備

○令和2年度に身障者用駐車場を整備することができた。今後も利用者が快適に過ごせる館内環境を整えていく。

○花壇を整備し、四季を通じて季節の花が咲いている環境を整え、利用者が気持ちよく来館できるようにする。

○子どもの部屋前のテラスに椅子やテーブルを設置し、過ごしやすい春や秋の季節で天気の良い日に外で本が読める環境を整える。

2 図書館利用の拡大につながるボランティア活動、行事をめざして

□ボランティア活動

○生涯学習課管轄「図書館文化施設ボランティア」を立ち上げて11年が経過した。現在35名のボランティアが五つの活動内容に分かれて活動している。（おひざにだっこのおはなし会ボランティア、おはなしひろばボランティア、お話を楽しむ会ボランティア、環境ボランティア、行事ボランティア）そこでは、

- 図書館の活動方針を前向きに受け止め、非常に意欲的、前向きに活動している。
- ボランティア同士の間関係もよく、互いの友好を深め合っている。
- 多様な活動内容の工夫が図書館の活性化をもたらし、利用率向上にもつながっている。という様子が見られる。

○乳幼児対象の「おひざにだっこのおはなし会」は30名前後の参加者があり、お母さん方にとって子育てについての情報交換の場にもなっている。

○図書館こどもフェスタは小学生を対象に、図書館への理解と親しみをもってもらう催しであるが、新型コロナウィルスまん延のため、過去2年間中止となっている。本年度は実施内容や参加人数を考慮しながら、実施の方向で検討していく。

○幼稚園・小学校低学年対象の「おはなしひろば」への参加は多くないが、学校内での読み聞かせが定着してきたこと、子どもたちの土曜日の過ごし方が多様になってきたこと等が理由として考えられる。

○成人向けの朗読会「お話を楽しむ会」は、名作や昔話、小説の短編等の朗読や関連した講話を聞くことで、多くの作品を楽しみ、文学に親しんでもらうことを目的に実施していく。

□令和4年度図書館主体の行事等

〔 図書館主催講座 〕

- 「文学講座」として、「方丈記」をテーマに実施する。（2年目）
- 古典文学や伝統芸能に親しむことを目的に、「俳句入門講座」を実施する。（5年目）
- 絵本を通じて豊かな心を育み、親子の絆を深めるために「絵本作家講座」を実施する。

〔 図書館子ども司書講座 〕対象 小3から小6

- 当図書館の特色ある子ども向け行事であり、現在、10期生まで巣立った。

〔 本のリサイクル市 〕

- 「本のリサイクル市」（12月）に実施し、利用者からも好評であった。提供される本の冊数や内容によって、どんな配置にするか工夫していくことに配慮しながら実施する。

〔 読書手帳 〕

- 本年度以降も引き続き、市内全小・中学校での活用を推進する。読書60冊を達成した児童・生徒に記念ノートのプレゼントを実施している。

〔 本の福袋 〕

- 利用者の読書活動の幅を拡げ、更に意欲化を図るためにジャンルごとに本を集め、貸出を行う。
※子ども用30袋、大人用30袋。一袋3冊。

〔 めいぐるみのお泊まり会 〕（幼、小低学年対象）

○子どもたちがそれぞれにお気に入りのめいぐるみを持参して読み聞かせ等に参加したあと、めいぐるみを館内にお泊まりしてさせ、後日、迎えに来てもらうことで、図書館への関心を高める機会とする。

〔 上映会 〕

○8月は平和の大切さを、12月は文学の良さを知ってほしいと考えている。

○出版されている本をもとにした映画やアニメの上映を通して、図書に興味を持ってもらう。

〔 世界の絵本を楽しもう 〕

○国際理解教育の一環として、幼児を対象に外国の絵本や言語に触れ、楽しみながら外国への興味関心を高める機会とする。※令和4年度は英語、ネパール語を予定

3 遠隔地の人にも図書館の楽しさを届けることをめざして

○平成23年度より、4つの「鴨川市立図書館公民館分室」を開設し、市内のどの地域に住んでいても本が借りられるよう、利便性の向上をめざした貸し出し事業を実施している。

【曽呂公民館分室】 平成23年度開設

【大山公民館分室】 平成23年度開設 ※24年度に新大山公民館（旧大山小学校）に移設

【江見公民館分室】 平成24年度開設

【天津小湊公民館分室】 平成25年度開設

○平成26年度から本の返却を、また、平成29年7月から予約本受け取りサービスを、さらに、令和3年2月から本の予約を、市内すべての公民館で実施している。

○平成27年2月から、インターネット予約サービスを開始している。

4 小・中・高生の読書内容の質の向上をめざして

○学校図書予算の不足、国語教科書における本の紹介や図書館利用教材の扱い、朝読書や読み聞かせの実施等、公立図書館と学校との連携強化がますます求められてきている。実態として、

○市内小学校（特に1・2年生）で図書館見学をカリキュラムに位置づけたこともあり、小学生の登録者や利用者が増加している。

○団体貸出券を使用して本を借り、校内（学級）に図書館の本を置いて読ませたり、授業で活用する教員が増えてきた。団体貸出券で50冊貸出可能

○市内の小・中学生の読書力向上と読書習慣の定着を目指し、図書館からおすすめする本を配本している。（中学校は平成25年10月から、小学校は平成28年10月から実施）新刊図書の購入や定期的な本の入れ替えを図っていく。

※平成28年度 東条小と小湊小、平成29年度 江見小と長狭小

平成30年度 田原小と鴨川小 令和元年度 天津小湊小と西条小

学校との連携を大切にし、児童・生徒の読書環境の向上に努める。

○館内に、中・高生コーナーや教科書紹介本コーナーを特設している。

5 連携により、図書館活動の活性化と拡大をめざして

○図書館単独ではなかなか困難な事業も、他機関等との連携により実施が可能となっている。今後も必要に応じて積極的に連携を図り、つながりを大切にしたい態勢をとっていく。

（郷土資料館、ふれあいセンター、公民館、土曜スクール、学童保育、学校等）

※現在、郷土資料館（お話を楽しむ会）、健康推進課・福祉課・子ども支援課（ブックスタート事業）公民館（日常的に）、土曜スクール（事業案内チラシの配布、図書館子どもフェスタへの参加）、学童保育（出前読み聞かせ、図書館行事の案内と参加）、学校（図書館見学・体験・子ども司書講座、PTA研修）と連携した活動を行なっている。

6 安全・安心で気持ちよく利用できる図書館環境をめざして

○ふれあいルームの設置、トイレの洋式化、授乳室、障害者用トイレの設置、空調の改修工事、身体障害者用駐車場の整備等、利用者の利便性や快適性は改善されてきている。今後は計画的に室内照明のLED化を進め、環境の保持・向上に努めていく。

※本年度の室内照明のLED化は15箇所30本の予定。一昨年度は4箇所、昨年度は11箇所。

○3・11の大震災以降、落下防止テープの使用、大きな額の撤去、玄関上のガラスに飛散防止フィルムの貼付など必要な対策をとってきた。今年度は閲覧席の床を修繕し、利用者の安全・安心を確保していく。また、非常時における職員の動きを訓練を通して身につけていく。

○新型コロナウイルス感染防止については、引き続き消毒、換気、図書除菌機の活用を図るとともに、本年度は閲覧席用アクリル板や顔認証AI検温計の設置をし、コロナ禍における利便性の向上を図っていく。

7 その他

○第2次生涯読書推進計画（兼子どもの読書活動推進計画）の策定に向けて協力していく。（本市の第1次生涯読書推進計画は平成24年2月策定 ※国、千葉県とも、現在第4次の子どもの読書活動推進計画を策定済み）

○土・日、祝日開館に対応するためシフト体制の勤務となり、全職員が顔を合わせる日は多くない。館内整理日には、全職員勤務日とし、意思の疎通を図る時間を持つようにする。